

老いじたく推進事業について

1 事業内容について

区では令和2年度から、成年後見制度の利用促進だけでなく、「今から始めよう 自分らしい 老いじたく」をテーマに掲げ、「人生100年時代 老いじたく推進事業」に取り組んでいる。

老いじたく推進事業は、大田区社会福祉協議会おおた成年後見センターへの委託事業として実施している。老いじたく相談会やセミナーの開催、老いじたくパンフレットの作成等により周知及び啓発に取り組んでいる。

2 事業推進の理由

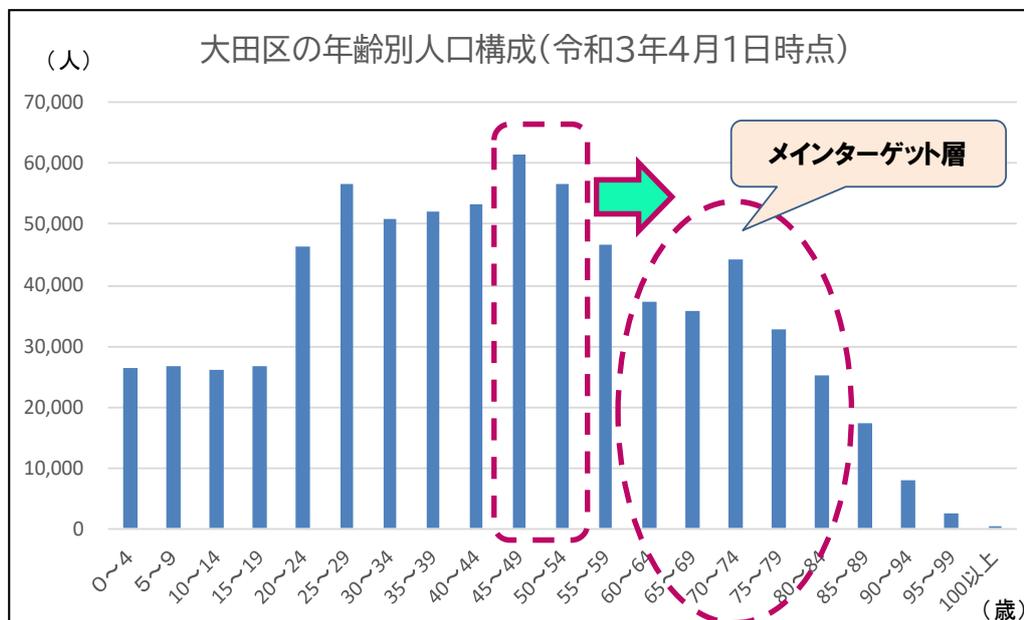
65歳以上の区内高齢者は約16万6千人（令和3年4月1日現在）おり、区民向け啓発を継続的に実施して、早期に老いじたくを進めることが本人の権利擁護の観点から重要である。

また、以下の理由から、今後も老いじたくに対する需要増が確実に見込まれる。

- ① 区内人口構成を見ると、現在40～50代の区民が多いこと
- ② 一般世帯のうち単独世帯の割合が、5割を超える状況にあること（※1）
- ③ 一般世帯のうち高齢単身世帯（※2）が、1割を超える状況にあること（※1）

※1：直近の平成27年国勢調査から大田区のデータを引用

※2：65歳以上の一人のみの世帯



新型コロナウイルス感染症の影響により、先が見通せない状況となり、早めに「老いじたく」を考える傾向が見受けられる。

※3：区民部戸籍住民課から情報提供を受けたデータを基に作成